



発行：2010年11月

指定管理者 (財) 千葉県まちづくり公社

愛犬といつまでも一緒に！

犬は、自分から不調を伝えることができません。健康そうでも、知らないうちに病気になっていることもあります。愛犬の病気の予防をするために、定期的な健康診断と普段の健康チェックをしませんか？普段からスキンシップで、愛犬の健康チェックをすることはできますが体の中まではチェックすることはできません。かけがえのない、家族の一員である愛犬の健康を守るのも飼い主の責任です。

幼犬や老犬と比べて抵抗力が高い成犬といえども、飼い主による健康管理が元気で過ごす大切なポイントです。生後7か月を過ぎたころから1日の食事は2～3回になります。生まれてから1年が経ったら、1～2回に減らします。栄養バランスのいい食事を与えてくださいね。

犬は6～7歳で老化が始まり運動量が落ちてきますが食欲は落ちませんから、肥満に注意しましょう。老犬には、消化のいいものが多いですよ。

成犬で注意したい病気は、肥満です。肥満は心臓病や糖尿病の原因にもなりますから、食べ過ぎと運動不足には気をつけてくださいね。他にも、犬種ごとにかかりやすい病気がありますから、普段のボディチェックを欠かさずに行いましょう。

老犬になると、目・耳・鼻などの感覚機能が低下します。それだけでなく、体の内部機能も全般的に低下して心臓病や腎臓病などが発生する恐れがあります。白内障も老犬に多いですので、健康管理には一層気を配る必要があります。そのために定期的に健康診断を受けることをお勧めします。8歳を過ぎたら半年に1度は受けてみてはいかがでしょうか。

愛犬と長く過ごすためにも病気の早期発見、早期治療はとても大切なことです。



また、健康と言えば体の健康がメインになりがちですが、私たちも心の健康が重要視されているように、犬も心の健康、つまりメンタルヘルスが大事です。攻撃的な行動は犬の習性によるものもありますが、多くはストレスからくる心の病が原因です。犬の心の病には、次のような症状があります。

【支配性による攻撃】わがままに育ち自分をリーダーと思い込むことで家族を威嚇・攻撃する

【恐怖による攻撃】社会になじめず、初めての人や場所に攻撃的な行動をとる

【テリトリーを守る攻撃】テリトリー本能が働き、自分のテリトリーへの侵入者を攻撃する

【分離不安】寂しさや不安により、飼い主の物を壊したりする

【環境の変化による不安】音やまばゆい光におびえたりする

【強迫性異常症】運動不足でストレスを感じ、自分のしっぽを追いかけたりかじったりする

これらの症状は、愛犬の飼い方や育ち方によって生まれるストレスが原因になっています。これは、しつけ

によって心の健康を取り戻すことができますので、攻撃的な行動をとったり行動がおかしいようであれば、獣医師に相談してみましょう。



ドッグラン ボランティア お知らせ

【ボランティア活動日】

12月7日(火) 9時30分～10時30分

活動内容：ドッグラン内の清掃を予定
 ドッグランボランティアのご参加をお願いします。

※本紙に記載されている内容については、都合により変更になる場合があります。詳しくは下記までお問い合わせください。

北総花の丘公園管理事務所

〒270-1341 印西市原山1-12-1

TEL:0476-47-4030